

ものづくり・匠の技の祭典2019 基本計画書

1 開催趣旨

日本文化を支える匠の技と中小企業の優れたものづくりの技術を、東京のみならず日本各地と連携して、海外の方も含めた幅広い世代に分かりやすく紹介する。
 テーマ：伝統と革新（革新の積み重ねが伝統を生み出し、伝統の技と革新的な技術が交差する）

2 会期・会場

【会期】

平成31年7月25日（木）～27日（土）（22日～24日：設営・準備期間）
 午前10時～午後6時 ※最終日のみ午後5時まで

【会場】

TOC 展示場（五反田） グランドホール（メイン会場）、特別ホール（地方出展会場）

※開催時間及び設営・準備期間については、会場変更に伴う搬入出時間の影響を鑑み、イベント受託会社との調整を踏まえ、最終決定する。

3 基本コンセプト

- 展示だけでなく、体験や実演等を通じて、匠の技やものづくりの技術の素晴らしさを来場者が五感で感じることができるイベントとする。
- 日本各地（道府県等）と連携して、東京のみならず全国の優れた匠の技やものづくりの技術が一堂に会するイベントとする。
- 国内のみならず、訪日観光客をはじめとする海外からの来場者にも匠の技やものづくり技術の素晴らしさを発信できるイベントとする。

6 イベントイメージ

【会場イメージ】

- 原則としてメイン会場となるグランドホールにステージや職種ごとのブース等を設け、特別ホールは日本全国からの出展会場として自治体単位（道府県、市町村）のブース等を設ける。
- グランドホールは「衣」「食」「住」「工」の分野ごとにゾーニングしたうえで、職種ごとのブースのほか、賑わいを創出する「ステージ」や「茶室」等を分散配置する。
 なお、具体的な配置は、イベント受託会社との調整を踏まえ、最終決定する。
- 行き止まりのない動線を確保するため、回遊性を高めるとともに、パーテーションを低くして会場の一体感を創出する。

【コンテンツイメージ】

- 匠の技やものづくり技術の実演や茶室の展示等については、用いられている技能が来場者に伝わるように工夫するとともに、茶室については茶道・華道を披露する場としても活用する。
- 職種ごとのブースは展示だけでなく、実演・体験が伴うものを優先するとともに、体験を円滑に行うため事前ネット予約を実施する。
 一方で、当日来場者も体験することができるよう、当日枠を設定することを原則とする。
- ステージでの実演に加え、ブースでの展示・実演についても、映像をステージで放映するなど見せ方を工夫し、YouTube等によりインターネット配信する。
- 海外からの来場者に対応するため、事前告知のホームページやチラシ・ポスター等に加え、イベント時の会場内サインやガイドブック等の多言語版を作成し、通訳も配置する。
- 会場入口付近で、出展ブースの位置や催物等を来場者が把握しやすくなる工夫をする。

4 出展団体

※ 下線 が昨年度からの変更内容

【グランドホール（都内出展ブース）】

東京都等の技能士会連合会、職業能力開発協会等を通じて出展団体を募集、開催趣旨への合致（実演・体験の有無）、経費等を勘案して選定する。

【特別ホール（地方出展ブース）】

道府県、政令指定都市、オリンピック首長連合（三条市等）を通じて出展団体を募集、開催趣旨への合致（実演・体験の有無）、経費等を勘案して選定する。

5 広報スケジュール（予定）

- 各種広報を早めに展開していく。
- 会場変更に伴う来場者促進を図るため、イベント受託会社の企画提案により広報内容を決定する。

（例）5月：プレス発表、ホームページ設置

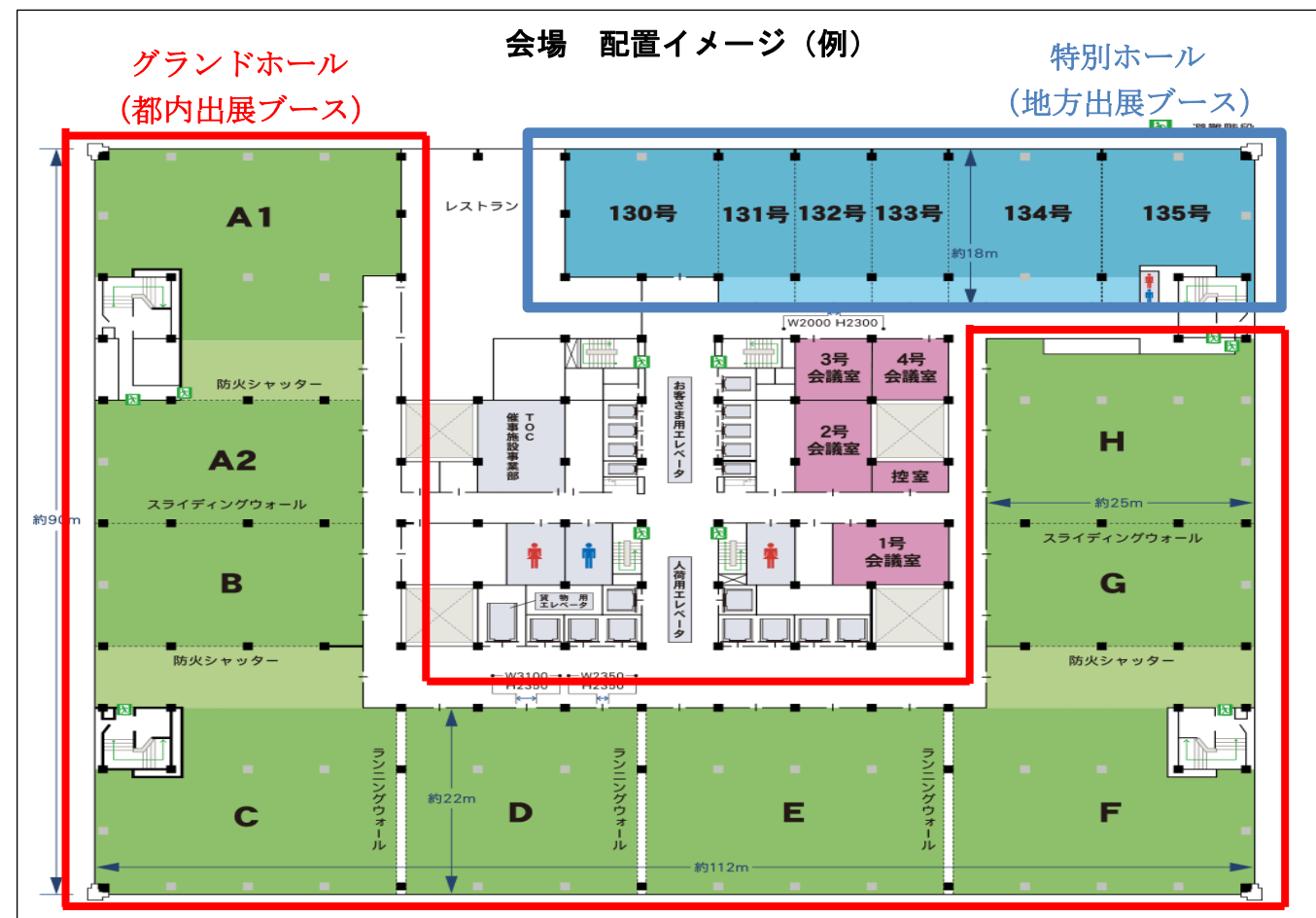
6月：チラシ・ポスター制作・配布、関係団体・学校関係告知

7月：訪日観光客（The Japan Times、観光案内所、GO TOKYO 等）

交通広告（駅貼り、窓上広告、車内ビジョン広告 等）

行政広報（広報東京都、東京都提供テレビ・ラジオ、出展自治体広報 等）

プレスへの取材案内



ものづくり・匠の技の祭典2019 基本計画書

7 グランドホール（都内出展ブース）

- グランドホールは、1ブースあたり32㎡程度、計45ブース程度とする。
 （参考）平成28年度：27㎡/1ブース、44ブース設置
 平成29年度：32㎡/1ブース、36ブース設置
 平成30年度：32㎡/1ブース、38ブース配置 ※一部16㎡のブースあり
- ブース内の構成（展示、体験、実演、販売）は出展団体が企画し、都・受託者・出展団体とで調整し決定する。
- 体験の主な対象は数年後に就業が期待できる中高生以上として、原材料費は来場者から徴収することを原則とする。（小学生も参加可）

8 特別ホール（地方出展ブース）

- 特別ホールは、1ブースあたり10㎡程度、計20ブース程度とする。
 （参考）平成28年度：5㎡/1ブース、40ブース設置
 平成29年度：10㎡/1ブース、22ブース設置
 平成30年度：10㎡/1ブース、18ブース設置
- 体験は特別ホールで共用スペースを設けて実施することとし、基本的な考え方はグランドホールと同様とする（来場者負担、中高生以上）。

9 ステージイベント

- 1プログラムは原則として、45分程度として合間に30分間程度の休憩を設け、1日のプログラム数を7プログラム程度（オープニングセレモニー含む）と余裕のある時間設定とする。
 （参考）平成28年度：初日8プログラム、2日目7プログラム、3日目8プログラム
 平成29年度：初日8プログラム、2日目8プログラム、3日目5プログラム
 平成30年度：初日7プログラム、2日目7プログラム、3日目4プログラム
- オープニングセレモニーは、主催者挨拶、来賓挨拶のほか、イベントにふさわしい匠の技をPRする内容も加える。

10 アクセス

東京都品川区西五反田 7-22-17

- JR、都営地下鉄 五反田駅より徒歩10分
- 東急池上線 大崎広小路駅より徒歩9分
- 東急目黒線 不動前駅より徒歩6分
- JR五反田駅からTOCビルへの無料シャトルバス（TOC EXPRESS）利用可能（平日8分間隔）



11 平成30年度記録写真（オープニングセレモニー）



主催者挨拶



左官・タイル・印章職人による共同作品の披露

（ブース）



都内出展会場（板金：32㎡）



都内出展会場（フラワー：16㎡）



地方出展会場（大分県：10㎡）



地方出展会場（体験スペース）

（ステージイベント）



いけばな実演伝統の美・現代の美



ステージバック張替実演